



全ての児童生徒に安心できる学びの場を

令和8年 2月

1 どこに相談したらいいの? ～相談窓口～

宗像市では、「支援が必要な子供たちが学びにつながるようにすること」「全ての学校を誰もが安心して学べる場」にすることを推進しています。相談窓口の一覧は、宗像市のHPに載せています。どんな小さな悩みでも構いません。右のQRコードより相談先をご確認ください。



2 お子さんに合った支援は どのように選べばいいの? ～連携体制～

A 登校状況 (児童生徒)

悩みや不安がない。毎日学校に登校することができている。

支援の内容 (学校との連携)

引き続き ご家庭での見守り ご支援をお願いします。気になることがあるときは 学校(まずは担任)に ご相談ください。

B ↑ ↓

何か悩みや不安を抱えている。不定期に学校を休んでいる。休みがち、遅刻しがちの傾向が見られる。

チーム学校型支援

「チーム学校」として支援を進めます。お子さんの状況や要望等を学校(担任、養護教諭等)にお伝えください。お子さんに合った具体的な支援の在り方を検討します。

安心できる



【人(窓口)】
・担任
・養護教諭
・その他

【場所】
・教室
・別室
・その他

【学び方】
・内容(易しい ⇄ 難しい)
・人数(多い ⇄ 少ない)
・教材(ICT ⇄ 紙媒体)等



※学校によって支援体制は異なりますが、お子さんの状況や要望を踏まえて適切な支援体制づくりに努めます。学校の教職員及び市のSSW(スクールソーシャルワーカー)やSC(スクールカウンセラー)等の関係者と連携し適切な支援の在り方を検討します。必要に応じて、以下の関係施設との連携を図ります。

C ↑ ↓

悩みや不安を抱えている。継続的に学校を休んでいる。

多様な学び型支援

「学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境」として、宗像市には、以下のような学びの場があります。お子さんの状況や要望等を踏まえて、利用をご検討ください。※検討される際には、学校(担任や養護教諭等)にご連絡ください。

自分で学習を進め 学校復帰を目指したい



教育サポート室 エール

- 開設** 平成10年7月
- 特徴** 教科学習、体験学習 ほか
- 開室日** 原則、学校に準ずる
- 連絡先** 0940-36-8303
- 所在地** 宗像市久原180

学校復帰よりも自己肯定感や 自立性・社会性を育みたい



子どもの自立サポートセンター ホープ

- 開設** 令和5年4月
- 特徴** 安心して過ごせる居場所、各種体験活動 ほか
- 開室日** 月～金曜日
- 連絡先** 0940-39-3102
- 所在地** 宗像市武丸199

家から一步踏み出す 「出場所」を体験したい



玄海の家 Chot GKI

- 開設** 令和5年9月
- 特徴** 外に出るきっかけづくり 自然体験活動ほか
- 開室日** 火～金曜日
- 連絡先** 0940-62-2511
- 所在地** 宗像市神湊1276

宗像市 子育て・教育サイト 「おむハグ。」 Childcare and Education



家に来て支援をしてほしい 安心できる場所で支援を考えたい



家庭訪問 相談指導員派遣

エール・ホープに通うことができない児童生徒及びその保護者に対する支援

オンラインを活用して学びたい



ICT活用型不登校児童生徒支援事業(みらいサポーター事業)

不登校児童生徒に対して、心理、社会福祉、教育等を学んでいる大学生ボランティアを活用したオンラインによる学習支援や教育相談の実施



民間の施設で学びたい



民間施設(フリースクール)等

当該施設 学校、家庭との十分な連携体制等を確認し、継続的に支援

3 進学先は どのようなところがあるの? ～進路選択～

福岡県立高校では、様々な学びの場が準備されています。以下に示す学校の詳細は、福岡県のHPに掲載されています。お子さんに合った進学先をご検討ください。

全日制高校

定時制高校(昼間定時)

通信制高校(博多清松高校)

定時制高校(夜間定時)

学びの多様化学校



福岡県 Fukuoka Prefecture

